

# E.T.C. 「教育をタイムリーにチェンジする」



長野県総合教育センター通信

## しののめ

2018/11/20  
(平成30年11月号)  
第115号

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4 (企画調査部)

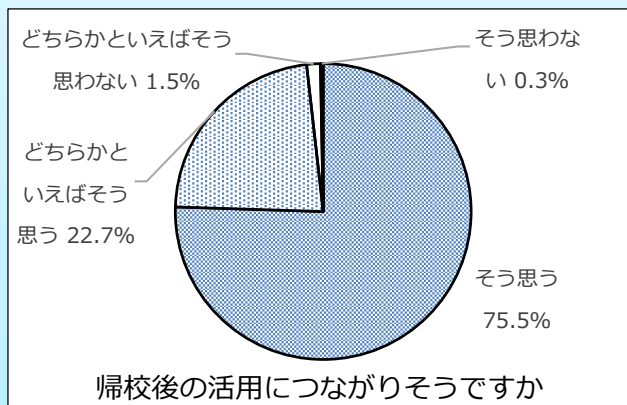
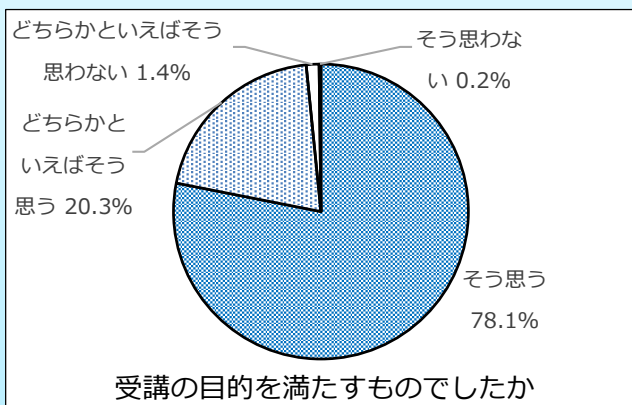
TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail: [kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp](mailto:kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp)

### 目次

受講して学んだことを校内でアウトプット！	1
題材をつくろう⑦ (音楽)	2
産業教育MIRAIフェアのお知らせ	3
センター研究協議会のお知らせ	5
センター研究協議会のお申込み方法について	7

## 受講して学んだことを校内でアウトプット！

<受講者アンケートの結果から>



センター研修を受講された方のアンケートから、研修講座は受講者の期待に応えられていると考えています。また帰校後の活用に関しても「活用につながりそう」とお答えいただいています。

受講者の皆様には学んだことを校内でアウトプットいただき、共有・活用につなげていただきますようお願いいたします。

(職員会議でミニ研修会を実施いただいている事例もあります。)



# 題材をつくろう⑦



ミガコ先生

子どもたちが、教材にある音楽的なことに目を向けて、表現を追究できるようにするには、どのように題材展開をすればいいのかしら？

題材で扱う教材の特徴、特にその教材の中にある**音楽を形づくっている要素の働き**について聴き取ったり感じ取ったりし、その働きのよさやおもしろさを音楽活動を伴わせて追究していくことが大事だね。4年生「せんりつのとくちょうを感じ取って歌おう」の題材から見てみよう。



つなぐ先生

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第4学年

【題材名】 せんりつのとくちょうを感じ取って歌おう【歌唱】（全3時間）教材名：ゆかいに歩けば

【育成する資質・能力】

思考力、判断力、表現力等	知識及び技能
ア 歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつこと。	イ 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて気付くこと ウ(イ) 呼吸及び発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない歌い方で歌う技能

【主な学習活動と留意点】

前題材とのつながり：「拍の流れによってリズムを感じ取ろう」で、拍子やリズムの特徴を感じ取りそれを生かして表現をしたりした。

働かせる見方・考え方：音楽に対する感性を働かせ、前半がスタッカート、後半がレガートという旋律の特徴を捉え、それが効果的に働いて曲想につながっていることを感じ取り、それらを関連付けること。

階	○学習内容・主な学習活動（時間）	留意点
第一次	○旋律の特徴を捉えて主旋律を歌う (1) ・教師の範唱を聴き、曲の特徴や伝わってきた曲想について伝え合う。 ・階名唱をして旋律を覚える。 ・旋律の特徴に注目し、知覚・感受したことをまとめる。	<b>曲に出会う・知る場面</b> ☞歌う・聴く・楽譜を見る等多様な活動を通して、曲の特徴や曲想に気付く場をもちましよう。 ☞【共通事項】を意識して聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えることができるように指導方法を工夫ましよう。
第二次	○旋律の特徴を生かした歌い方を工夫する（グループ追究→全体追究） (1) ・グループになり、互いのアイデアを伝え合いながらよりよい表現を追究する。 ・グループで追究した表現を発表し、聴き合う。	<b>追究する・深める場面</b> ☞子どもが「目指す表現」を豊かにイメージできるようにましよう。（こんなふうに歌いたいな！） ☞曲の特徴をまとめた板書や拡大楽譜等を見て考える等、課題を共有して追究できる場をもちましよう。 ☞常に「音楽を形づくっている要素」の働きを意識させて授業を展開ましよう。
第三次	○旋律の特徴を生かして歌う（1） ・工夫した表現を歌い味わう。 ・学習のまとめをする。 ♪録音や録画に残して聴き返す。 ♪曲の紹介文を書く。	<b>よさを味わう場面</b> ☞友と一緒に歌い合ったり聴き合ったりする“まとめの表現活動”を適切に位置付けましよう。 ☞追究したことを振り返る場面では、“できるようになったこと・分かったこと”を確認し、言葉でまとめたり伝え合ったりする活動を充実させましよう。

他の題材とのつながり：「いろいろな音との響きを感じ取ろう」等で、本題材で身に付けた資質・能力を使って学習する。



ゆかいに歩けばの旋律の特徴付けている**音楽を形づくっている要素**は、前半の**弾むように歌う「スタッカート」**と後半の**なめらかに歌う「レガート」**の対比です。「スタッカート」と「レガート」にどう子どもたちが主体的に気付くか先生自身もこの曲を何回も聴いたり歌ったりして題材の特徴を感じ取りましよう。



先生が「スタッカート」と「レガート」を説明するのはではなく、子どもが教材を歌いこんだり、聴いたり、楽譜を見たりし、音楽を通して主体的に気付く場をつくりましよう。



曲の特徴（「スタッカート」と「レガート」）を基に、子どもたちがもった「こんなふうに歌いたいな」という思いを拡大楽譜等で共有し、グループ等で表現の工夫をましよう。「スタッカート」と「レガート」について聴く係の子をつくる等、追究の視点がぶれないようにましよう。



追究した「スタッカート」と「レガート」がどのように表現されていたかを視点として聴き合い、振り返りましよう。発問の例『「スタッカート」と「レガート」を工夫したら歌がどんなふうに変ったかな？』

題材構想の中で、「曲の特徴（曲の中にある音楽を形づくっている要素の働き）を感じとる」⇒「その特徴から表現の工夫をする」⇒「工夫した表現を聴き合い、振り返る」流れの中で、「曲の特徴」を常に意識して展開していくことが大切です。

# 産業教育MIRAIフェア2018

## ここから未来へつなげよう！

### ～新たな学びで、未来を創る～



専門学科や総合学科の活動を知ることができ、より関心を持つことができ、とても良かったです。



自分の進路について、より考えを深めることができました。高校生のレベルの高さに驚いた。



高校生のエネルギーを感じました。中学2・3年生に見せたいと本気で思いました。



高校生の思考力の高さを感じました。地域の方のご協力と高校生の力で、長野県の未来が明るいと感じました。

産業教育 MIRAI フェア 2017 来場者感想より



**農業・工業・商業・家庭・福祉などの  
専門学科や総合学科で学ぶ生徒が  
ステージ発表・作品展示・実演・販売実習で  
学習成果を発表します**

**日時：平成30年12月8日（土）9時15分～13時30分**

受付は8時30分からです。見学は自由です。みなさまのご来場をお待ちしております。

**会場：長野県総合教育センター**

[住所]〒399-0711 塩尻市片丘南唐沢 6342-4 [電話]0263-53-8800 (代表)

**主催：長野県総合教育センター 後援：長野県産業教育振興会**

## 日程（開会식을9時15分より行います）

内容	発表時間	学校名	学科名等	テーマ		
ステージ発表	9:30	駒ヶ根工業	工業	無線通信を使ったサウンドシンクロライト		
	9:42	下伊那農業	農業	南信州の救世主 ～信州黄金シャモプロジェクト～		
	9:54	諏訪実業	商業・家庭	地域の伝統文化・産業をビジネスに結びつける		
	10:06	エクセラシオン	環境	ゴミ問題から環境問題を考える		
	10:18	木曾青峰	農業	青峰から未来につながる里山づくり		
	10:30	上田千曲	家庭	地域とつながる ～「ちくまハートカフェ」・「ふくしニア」の実践～		
	10:42	中野立志館	商業	信州中野発！地域コラボの新品		
	10:54	松本工業	工業	インタラクティブなVRの研究		
展示・実演・販売等 11:04～12:04	中野立志館 丸子修学館 南安曇農業	須坂創成 諏訪実業 穂高商業	長野工業 岡谷工業 松商学園	更級農業 駒ヶ根工業 エクセラシオン	屋代南 下伊那農業	上田千曲 松本工業
ステージ発表	12:04	長野工業	工業	鍛接の引張強さについて		
	12:16	下伊那農業	農業	MA包装を利用した果物の鮮度保持と貯蔵法の改善 ～端境期に着目した未来型の果樹産業をめざす～		
	12:28	エクセラシオン	福祉	福祉科校外研修「国際福祉機器展」		
	12:40	岡谷工業	工業	諏訪湖のヒシの有効利用に関する研究報告		
	12:52	松商学園	商業	競争から共創へ 地域の課題解決のためにできること		
	13:04	更級農業	農業	「心と笑顔を育む花育士を目指して」（弁論）		

## ～昨年の様子～

### 式典・ステージ発表



### 作品展示・実演・販売実習



平成30年度

長野県総合教育センター

あなたの学びを加速する！

# センター研究協議会

平成31年2月19日(火)

9:40～16:10(受付9:10～9:35)

総合教育センターが取り組む学校教育に関する研究成果の発表により、県内の各学校・教育関係機関等における研究活動の充実、教員の指導力の向上に資することを目的として開催します。

## 午前：分科会(研究発表・協議)

分科会  
A

希望研修を学校づくりに活用する  
OUTPUTの在り方  
～小学校外国語活動・外国語～

分科会  
B

小学校プログラミング教育  
～校内研修の在り方について～

分科会  
C

探究的な学びに焦点を当てた  
カリキュラム・マネジメント

分科会  
D

「チームとしての学校」を  
サポートするために

分科会  
E

各校におけるICT活用と  
推進のためのポイント  
～初めての活用を支援～

分科会  
F

平成の教育改革の変遷

## 午後：全体会

テーマ：平成の教育改革をふりかえる

全体発表 「平成の教育改革の変遷」

講演 「次の時代の日本社会と、  
これからの学校教育に期待すること」(仮)

講師 波頭 亮 氏 (株) XEED 代表



東京大学経済学部(マクロ経済理論及び経営戦略論専攻)を卒業後、マッキンゼー&カンパニー入社。  
1988年独立、経営コンサルティング会社(株)XEEDを設立。  
幅広い分野における戦略系コンサルティングの第一人者として活躍を続ける一方、明快で斬新なビジョンを提起するソシオエコノミストとしても注目されている。

- 会場 長野県総合教育センター 〒399-0711 長野県塩尻市片丘南唐沢6342-4
- 参加費 無料
- 参加申込み センターホームページの入力フォームより、研修講座の申込み同様、教頭先生を通じてお申し込みください。〈締切日 平成31年1月30日(火)〉  
(定員に達した分科会は申込を締め切ります)

長野県総合教育センター ホームページ URL : <http://www.edu-ctr.pref.nagano.jp/>

本年度の長野県総合教育センター研究協議会では、参加者の皆さんと、

○各テーマに関する研究の成果の発表、それを踏まえたワークショップやミニ講座を通し、

そのよさや課題を明らかにして、**研究の成果を日々の実践へとつなげていく** こと

○「平成の教育改革」をふりかえり、経営コンサルティングの見た「次の時代の日本社会」に触れ、

**「そこに生きる子どもたちのために、今、学校教育は何をすべきか」を問う** こと

を目指しています。

## □ 日 程

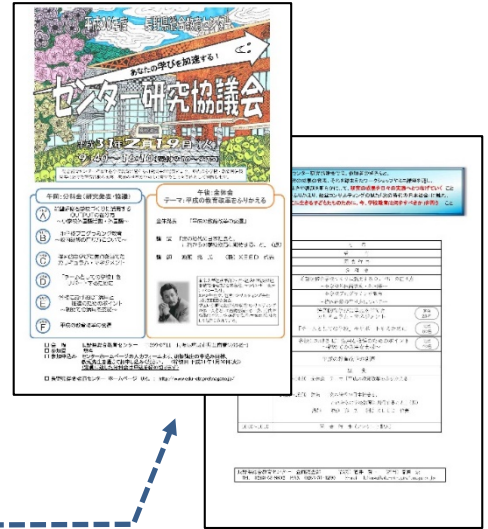
時 間	内 容	
9:10～ 9:35	受 付	
9:40～ 9:50	開 会 行 事	
10:00～12:00 (120分)	分 科 会	
	A	希望研修を学校づくりに活用する OUTPUT の在り方 ～小学校外国語活動・外国語～
	B	小学校プログラミング教育 ～校内研修の在り方について～
	C	探究的な学びに焦点を当てた カリキュラム・マネジメント <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">定員 20名</span>
	D	「チームとしての学校」をサポートするために <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">定員 60名</span>
	E	各校における ICT 活用と推進のためのポイント ～初めての活用を支援～ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">定員 40名</span>
	F	平成の教育改革の変遷
12:00～13:00	昼 食	
13:00～16:00	13:00～14:20	全体会 テーマ「平成の教育改革をふりかえる」
	14:30～16:00	講演 「次の時代の日本社会と、 これからの学校教育に期待すること」(仮) 講師 波頭 亮 氏 (株) X E E D 代表
16:00～16:10	閉 会 行 事 (アンケート記入)	

長野県総合教育センター 企画調査部 (部長) 酒井 賢一 (担当) 菅原 崇  
TEL 0263-53-8802 FAX 0263-51-1290 E-mail kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

# センター研究協議会のお申し込み方法について



センター研究協議会のお申し込みはセンターHPからなります。お知らせのリンクからお申し込みページへアクセスできます。  
お申し込みは**教頭先生を通じて**お願いします。



## お知らせ

- ＜平成30年度 センター研究協議会について＞  
本年度のセンター研究協議会を、平成31年2月19日（金）開催します。  
1次案内は「[こちら](#)」、申し込みは「[こちら](#)」をご覧ください。



□ 平成30年度\_\_長野県総合教育センター研究協議会  
申し込み内容の入力

**操作方法のご説明**  
下記の入力フォームに必要事項を入力した後、「申し込み内容確認」ボタンをクリックしてください。  
**※必須**マークがある項目は、必ず入力してください。  
また、機種依存文字は使用しないでください。機種依存文字が入力されている場合はエラーになります。  
途中で入力した内容を一時保存したい場合「申し込み一時保存確認」ボタンをクリックしてください。  
ただし、選択した添付ファイルに関しては一時保存されません。

同じ機関より複数の方がお申し込みになる場合は、その都度入力をお願いします。

<b>学校ID</b> <small>必須</small>	県内の公立、私立学校の場合はセンターから配布されている学校IDを入力してください。 県内の教育委員会関係機関はA000000 県外の公立教育関係機関はB000000 民間の教育関係機関はC000000 その他のお申し込みの場合はD000000 をご入力下さい。 6文字以上7文字以下で入力してください。
<b>所属</b> <small>必須</small>	学校名、教育事務所などの正式名称を記載してください。
<b>メールアドレス</b> <small>必須</small>	学校長様宛に、決定通知を送信します。 学校代表メールをご入力ください。 100文字以下で入力してください。
<b>職員番号</b> <small>必須</small>	県内の学校からの申し込みの場合は、職員番号(6桁)をご入力ください。 上記に当てはまらない場合は、000000をご入力ください。
<b>参加者</b> <small>必須</small>	
<b>希望分科会</b> <small>必須</small>	A～Eより、1つ選択してください。 分科会 ○ A 希望研修を学校づくりに活用するOUTPUTの在り方 ○ B 小学校プログラミング教育 ○ C 探究的な学びに焦点を当てたカリキュラム・マネジメント ○ D 「チーム」としての学校をサポートするために ○ E 各校におけるICT活用と推進のためのポイント ○ F 平成の教育改革の変遷
<b>バス利用希望の有無</b> <small>必須</small>	センターバスの利用の希望の有無をご選択ください。なお、往路復路を別々に選択することはできません。 ○ 希望しない ○ 長野道__広丘野村バス停 ○ 塩尻駅

**通信欄**

**お問い合わせ**  
長野県総合教育センター  
企画調査部 菅原 崇  
TEL 0263-53-8802  
FAX 0263-51-1290

## お申し込みの準備

これらの情報をご準備ください。



- ・学校ID  
(講座申込の時と同一のもの)
- ・所属の正式名称
- ・学校代表メールアドレス
- ・職員番号(6桁)
- ・参加者氏名
- ・希望分科会
- ・バス利用の有無

## フォームへの入力

- ・ご準備いただいた情報を入力します。
- ・必要に応じて通信欄もご入力ください。
- ・入力途中でも一時保存可能です。(再開用パスワードをご設定ください。)



## 内容確認と送信

- ・お申し込み内容確認ボタンを押し内容に間違いがなければ、そのままご送信ください。送信後は、問い合わせ番号が表示されますので、印刷するなどして控えをお持ちください。